

事業所名

印西市立子ども発達センター

支援プログラム

作成日

令和6年

12月

1日

法人（事業所）理念	必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、円滑な運営管理を図るとともに、利用児童及び保護者の人格を尊重し、利用児童及び保護者の立場にたった適切な児童発達支援を提供します。					
支援方針	利用児童が日常生活における基本動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、適切かつ効果的な支援を行います。 少人数グループの中でルールを理解やコミュニケーション能力を身につけます。 保護者支援、地域との結びつきを重視し、関係機関とも密接な連携に努めます。					
営業時間	9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容						
たんぽぽグループ						
ひまわりグループ						
本人支援	健康・生活	個々の健康状態を把握するとともに、保護者と連携し生活リズムを整えるよう取り組みます。 排泄、食事、着替えなどの日常生活動作について、一人ひとりに合わせて支援を行います。声かけや促し、自分で気づいて行うなど、達成目標に応じた対応（声かけ・視覚的掲示・構造化等）で取り組みます。			健康に過ごせるよう、保護者と連携をとっていきます。 日常生活動作について、一人ひとりに合わせて支援を行います。声かけや促し、自分で気づいて行うなど、達成目標に応じた対応（声かけ・視覚的掲示・構造化等）で取り組みます。	
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動・動作の改善及び習得、筋力の向上を図るため、感覚統合の視点を取り入れた運動あそび（トランポリン、吊り具、大型マット、巧技台、はしご、すべり台、トンネル等を使った設定）を行うことで、全身を動かして取り組める活動を増やすことに繋げていきます。また、身体の機能だけでなく集中する力、持続する力、コミュニケーション能力にも繋がります。			動的な課題を通して姿勢保持や、運動・動作の改善及び習得、筋力の向上を図ります。また、身体の機能だけでなく集中する力、持続する力、コミュニケーション能力にも繋がります。	
	認知・行動	一日の流れを視覚的に示し、見通しをもち安心して落ち着いて行動できるように環境設定をします。 大人が遊びのモデルとなり遊びに誘いかけたりすることで意欲的に取り組めるようにしていきます。また、自ら取り組むことを大切に「できた」「やった」という成功体験が積めるように支援します。			集団遊びでは、ルールを言葉と視覚的に示すことで理解できるよう促し、意欲的に取り組めるように支援します。さらに「またやりたい」「難しそうだけどやってみよう」という意欲につながるように支援します。 着席、よく見る、苦しいことも頑張ってみる等、課題に向けて取り組む姿勢や力を養います。	
	言語 コミュニケーション	言葉・発声・身振りなど、人に伝えようとする意欲を大切にします。 活動の中で相手を意識することや感情の言語化、表現の仕方を伝え、個々に応じた表出の場面をつくります。 心地よいコミュニケーションがとれるよう、繰り返し丁寧に関わります。			大人が相手への言葉の伝え方のモデルを示すことで、他者への気持ちの伝え方を知り、自発的に伝える力に繋がっていきます。望ましくない言動はその場より良い表現方法を知らせ、コミュニケーションが取れるよう、繰り返し丁寧に関わります。また、活動の中で相手を意識することや感情の言語化、表現の仕方を伝え、個々に応じた表出の場面をつくります。	
	人間関係 社会性	安心できる大人との関係性をつくることを基盤とします。そこから周りの状況に気づき周囲の人や物への興味・関心、関わることの支援をしていきます。 発達の特性を理解し、一人ひとりに合わせた声かけ、行動への支援を行う中で気持ちや感情の調整ができるよう支援していきます。			様々な活動の中で、ルールや順番の理解など、周りの状況に気づき、場に合わせた行動がとれるように支援します。 自由遊びでは、場や物の共有をする中で、大人や友だちとやりとりする機会を設定し、対人関係や社会性の基礎となる経験を積めるように支援します。	
家族支援	子育てや療育などに関する相談に対し助言を行います。また、発達に関する必要な知識や情報を提供します。 保護者学習会を実施します。 保護者同士のつながりや情報交換、交流を深められるよう保護者交流会や先輩保護者との交流会を開催します。			移行支援		
地域支援・地域連携	発達支援の充実を図るため、必要に応じ、各関係機関（保健センター・医療機関・幼稚園・保育園・児童発達支援事業所・教育委員会等）と情報共有するなど連携を密にします。 園訪問支援、保育園、幼稚園、支援センター職員の見学受け入れ。センターとしての地域支援者講座の実施等。			職員の質の向上		
主な行事等	たんぽぽグループ…社会性や経験の幅を広げるため、バス遠足、誕生会、保育園・幼稚園との交流保育、クリスマス会、お楽しみ会、お別れ会を実施。 月1回避難訓練、随時申し込みの療育参加など。 ひまわりグループ…療育参加日、引き渡し訓練を年1回実施。 療育最終日にはお楽しみ会（3・4歳児）お別れ会（5歳児）を実施。					